

休校中の親子の生活

当NPOのボランティアさんでお子さんがある方々に、外出自粛期間中に身近な自然と触れ合ったエピソードを聞いてみました。

エピソード1 やっぱ子どもは虫が好き



家の周りで虫を探したという声が一番多く聞かれました。「テントウムシ、バッタ、チョウ、カマキリなど、自宅の庭や近所を子どもと

一緒に散歩して探しました。」

日頃、自然に触れて暮らしている方からは、「今年はいつもの年より虫の出方が遅い」という声も。変化に気付ける感性は災害への備えともなるでしょう。

エピソード2 家の中で自然観察

アゲハチョウの幼虫を飼育ケースで育ててチョウの羽化を観察した方も複数いました。

「庭のミカン類やサンショウの木にはよくアゲハチョウが卵を産みに来ます。見つけた幼虫を飼育ケースに

移して、エサの葉っぱを補充しながら育てて、脱皮の様子やサナギへの変化、羽化の様子を観察しました。」

家にいたからこそ、じっくり観察でき羽化の感動を親子で分かち合えたそうです。

エピソード3 外来種を飼って人気者に

「公園の池や水路でカメ(ミシシッピーアカミミガメ)やザリガニ(アメリカザリガニ)を捕まえて家で飼い、再開した学校に持っていったら大人気でした。」

生きものとの触れ合いは、子どもたちの心の栄養となります。ただし、どちらも外来種ですので、再び自然界に逃さないようにしましょう。



エピソード4 野鳥のくらしを垣間見る

田んぼや雑木林、河川の土手などへ行くと様々な野鳥に出会うことができます。

「散歩コースの草原でカルガモが繁殖しているのに気づき、毎日見に行くとヒナの誕生や移動の様子を見ることができました。」

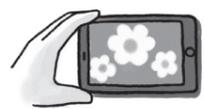
家の近くなら毎日行くこともできますね。続けて観察すると生きものの暮らしがわかり、自然への理解が深まることでしょ



エピソード5 スマホ片手に自然散歩

住宅地の周辺でも自然に出会うことができます。「運動不足解消に親子で家の周りをよく散歩しました。すると、道端や畑にもいろいろな発見があって、スマホで気に入った風景や虫や花などを撮影しては、楽しみました。素敵なものを見つけると家族や友達にSNSで送りました。誰かに教えたくるんです。」

決まったコースで季節の変化を見たり、ちょっと足を伸ばして、いつもは行かない場所へ行ってみたりしてもいいですね。最近では、写真から花や虫の名前がわかるスマホアプリもあるようです。



今年度の里山での活動

つくば環境フォーラムでは、筑波山麓の谷津田と研究学園地区の里山林を主なフィールドとしています。どちらも継続的な維持管理が必要なため、スタッフと登録ボランティアで、コロナ感染予防に留意しつつ、4・5月も作業を行っていました。谷津田では稲の作付けが田んぼの維持や生きもののために必要ですし、里山林でも定期的な草刈りなどの管理が必要のためです。イベントなどが中止となり生じた時間で、田んぼや森とじっくり付き合うことができ、また、イベント再開をめざして、プログラムの内容の検討や資料作成などを行いました。

そうしているうちに、イベントに申し込んでいた方や会員の方々から、再開のご希望もいただきました。新型コロナウイルスへの不安から参加登録をキャンセルされる方も多くみられましたが、今年度は安全に配慮して親子対象の小規模な野外イベントを、回数を増やし実施することにしました。子どもたちにとって野外で自然と触れ合うことは心身を健全に保つ上で、とても大切だと思っております。

再開したイベントは以下の通りです。開始前の健康チェック、マスク着用、参加家族間で間隔をあける等のウイルス感染対策に留意して実施しています。

しぜんっこくらぶinゆかりの森

幼児親子の自然体験教室を5月の回は中止し、6月から野外・午前中のみで実施。

9月の予定：生きものさがし～バッタと対決！

すそみの田んぼ体験つきオーナー

田植えは当初予定を緊急事態宣言解除後に延期し、2日に分け、10家族ずつで実施。田んぼオープンデーも各回10家族に限定、家族ごとで自由に活動。

9月の予定：稲刈り(2日に分けて実施)

里山ワンダーランド探検隊

5月の回は延期し、8月に別プログラムで実施。三密を避けて活動中。

9月の予定：森の観察&畑で藍のたたき染め

以上の自主事業については今年度の募集は終了しましたが、葛城地区大規模緑地での「里山散歩」(茨城県委託事業)、筑波ふれあいの里での「筑波山麓自然学校」、高崎自然の森での「つくば里山たのしみ隊」(以上、つくば市委託事業)などを再開しており、感染の動向を見ながら、規模や内容を変更し実施予定です。参加申し込み等については4ページをご覧ください。



体験付きオーナーの田植え

自然との Social Distance は？

今回のウイルス感染予防のために、Social Distanceという言葉が合言葉になりましたが、人と人が触れないように距離をとりながら、社会生活を送っていくには、今まで以上に忍耐や配慮が必要です。何より空間にゆとりがなくてはなりません。自然の中で生きものと関わる時も同じことが言えます。森や草原は、タヌキやイタチ、フクロウやおオタカ、昆虫、野草などのすみかでもあります。それがどこに生育しているか、どのくらい距離をとった方がいいか、触ってもいいかなど、その対象のことをよく知る必要があります。

ステイホーム中や遠出を自粛した夏休み中に住宅地のすぐそばの緑の中で体を動かしたり、自然観察をしたりなど恩恵に浴した方も多いでしょう。つくばでは公園だけでなく、周辺に農地や雑木林などの自然がまだたくさん残っているのが魅力です。それら身近にある里山の自然は、人が手入れして豊かさが保たれる自然です。しかし農地のまわりの草原、残された雑木林などの手入れは持ち主だけではできなくなっています。そこは子どもたちの大好きな自然の生きものの居場所でもあるのですが。そこで、つくば環境フォーラムでは、多様な生きものたちが棲み続けられるために手入れなどの手助けをしながら、それを観察したり、自然の中で楽しんだりする活動を行っており、そのためのボランティアも募集しています。手入れして、観察して(よく理解して)、楽しむ。言わばそれが、身近な自然との Social Distance のとり方、つき合い方ではないでしょうか。

ボランティア募集中! ①場所 ②活動日 ③内容

すそみの田んぼボランティア

- ①つくば市神郡 ②平日・休日(登録者に日程連絡)
- ③田んぼや畔の草刈り、水路の手入れ等

森づくりボランティア

- ①つくば市下平塚の民有林 ②休日(月1回程度)
- ③雑木林の草刈り、生きもののかきづくり等

葛城里山クラブ葛城フォレスター

- ①つくば市学園の森の茨城県有地 ②毎週火曜日
- ③刈払い機での草刈り、倒木処理等(有償・研修有)

葛城里山クラブ植生ボランティア

- ①つくば市学園の森の茨城県有地 ②第1、3火曜日
- ③希少植物の保護、外来種防除、植物の調査等

冊子を差し上げます! ご希望の方、ご連絡ください。

自然とつき合うヒントがいっぱいです。



里山学習ハンドブック



しぜんっこくらぶ活動記録集

つくば環境フォーラムの活動案内

つくば環境フォーラムの活動場所は、筑波山と山麓から平地林まであり、保全活動と環境教育を並行して実施する自主事業や、自治体からの委託事業なども実施しております。みなさまの興味・関心に即したプログラムや事業にご参加ください。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によって、延期・中止になる場合があります。⇒太字の活動を募集します(募集の時期、申し込み先は活動によって異なります。ホームページ等でご確認ください。)

活動地	事業名	環境教育	保全活動
筑波山	筑波山ファンクラブ	毎月自然観察会、登録制	
	筑波山自然環境教育事業①	自然を学ぶ講座 計画中	植物調査 ブナの開花結実調査 筑波山の樹木調査
	筑波山ネイチャーガイド事業②	開催未定	
	筑波山自然インストラクター	学校への自然ガイド等派遣	
筑波山麓	すそみの田んぼ 筑波山麓谷津田再生 「生きものと共存する米づくり」◎	「田んぼ体験付きオーナー」 体験4回 本年度募集終了	田んぼボランティア★ 田んぼオーナー★ 企業ボランティア★
	すそみの森 筑波山麓・水源の森づくり	森の手入れと学習活動 11/28 1/30 実施予定	水源の森ボランティア★ つくば薪クラブ(紹介)
	筑波ふれあいの里 筑波山麓自然学校③	自然体験講座等 年10回 11/7 12/19 1/11 1/23 2/6 3/6 開講予定	
葛城地区	オオムラサキの棲む里山づくり (民有林での活動)◎	里山ワンダーランド探検隊 4才以上親子対象、年10回 登録制 本年度募集終了	森づくりボランティア★◎ 11/21 12/12 1/16 2/20 3/20 雑木林の手入れ等
	葛城の森づくり・葛城フォレスター (県有林での活動 茨城県委託事業)	里山散歩⑤ 毎月第2日曜日 雨天決行 自然観察しながら散策	葛城里山クラブ⑤ 植生ボランティア◎ 里山クラブ交流会
豊里ゆかりの森	しぜんっこらぶ in ゆかりの森 (幼児親子の自然体験教室)◎	登録制 2クラス 年10回 水曜日クラス・金曜日クラス 本年度募集終了	
高崎自然の森	つくば里山たのしみ隊④	森の学習プログラム 年5回 11/14 秋の森たんけん 12/5 間伐体験とクリスマスクラフト	

【登録制】つくば環境フォーラムの会員登録が必要です。体験参加あり(申込制)
 【つくば市事業】①②③④はつくば市の委託事業です。申込み先はホームページで確認。
 ①つくば市環境政策課 ②つくば市観光推進課 ③筑波ふれあいの里 ④つくば市農業政策課
 【茨城県事業】⑤は茨城県の委託事業です。申込みは、葛城里山クラブ事務局(つくば都市交通センター)へ

葛城里山クラブ行事
 秋の森で里山クラブ交流会
 10月24日(土)
 ・自然紹介コーナー
 ・クラフトコーナー
 ・ネイチャービンゴ
 ・会員企画プレゼン他

★: 社会貢献活動やインターンシップ、社員研修等を受け入れております
 ◎: ボランティアを募集しています

特定非営利活動法人 **つくば環境フォーラム**
 <問合せ・お申込み> TEL/FAX 029-879-8810
 E-mail tef298@tsukuba-ef.com
 https://www.facebook.com/tef298/

「自然と人との共存」がつくば環境フォーラムの活動テーマです。豊かな自然のあるまちを未来の子どもたちへ伝えるため、保全活動・教育活動を展開しています。活動へのご参加、ご支援をお願いいたします。
 年会費: 正会員1万円、準会員2千円、賛助会員一口5千円

会員募集中



つくば環境フォーラム
 ニュースレター(No.46)
2020年度夏号
 2020.8 発行

発行: 特定非営利活動法人
 つくば環境フォーラム
 発行責任者: 田中ひとみ
 (事務所)
 住所: 〒300-2622 つくば市要320-2
 TEL/FAX: 029-879-8810
 http://tef298.sakura.ne.jp/
 E-mail: tef298@tsukuba-ef.com

CONTENTS

身近な自然とつき合うには
 ~自然と人とのよい関係をつくろう~

- ◎休校中の親子の生活
- ◎今年度の里山での活動
- ◎自然とのSocial Distanceは?

つくば環境フォーラムの活動ご案内

この春~夏は、新型コロナウイルス感染症の流行により、普通の日常生活ができない日々が続きました。学校も長い間休校となり、お子さんがいるご家庭では大変さも格別だったことと思います。少しでも屋外でリラックスしたいという都会の人々が公園やキャンプ場に集まり“密”を心配する報道を見て、つくばの自然や空間の豊かさを見直された方も多いのではないのでしょうか。今号では、身近な自然とのつき合い方について考えてみます。

森は生きものたちのホーム



お邪魔するときは、マナーを守りましょう!

イラスト: 小沢陽子